

⑩市内最古級のえびす像

～道路を占拠した赤い鳥居とえびす像～

佐賀市重要有形民俗文化財・石造恵比寿半跏像（平成7年10月23日指定）

恵比寿は七福神の一神で、商家では福德の神として、商家が栄えた宿場町などの街路端に奉祀され、また漁村においては、豊漁の神として祀られている。

佐賀市内にはこの恵比寿像が数多く分布し佐賀市の石像を代表するものの一つである。

この恵比寿像は、台座を含め像高58センチ、鯛を左脇に抱き右手を前に曲げて竿を持つ態をなし、全体的に破損も少なくよく完構を保っている。

製作年は享保9年(1724)で、現存造立銘の判明している恵比寿像のうち、市内で最古のものである。この恵比寿像のある相応津は、漁場豊かな有明海へそそぐ本庄江に面し、かつては漁港や商港として発達した津で他にも多くの恵比寿が祀られている。